

一 次の(1)から(4)までの言葉に関する問いに答えなさい。

(1) 次のアからケまでの言葉は、人の気持ちに關係する表現である。

それらは「不安」「嫉妬」「興奮」の三つのグループに分けられる。

それぞれのグループにあてはまる言葉を、三つずつ選び、記号で答えなさい。

ア	焼もちをやく	イ	血が騒ぐ
ウ	びくびくする	エ	気がかりだ
オ	ひがむ	カ	我を忘れる
キ	胸騒ぎがする	ク	気持ちがあがぶる
ケ	やかむ		

(2) 次の文中の 胸を張る を意味が同じになるように、別の表現で言いかえなさい。

試合には負けたが、最後まで全力を尽くしたので、彼女は胸を張ることができた。

(3) 次の文中の かえる にあてはまる漢字として正しいものをあとのアからエまでの中から( ) 内の説明を参考に一つ選び、記号で答えなさい。

教室の空気を入れかえる。

ア	帰る (もともといた場所に <u>戻る</u> こと。)
イ	代える (あるものの役割や役目を別のものにさせること。)
ウ	換える (価値や機能が等しいもの同士をかえること。)
エ	変える (物事を以前とは違う状態や内容にすること。)

(4) 次のことわざと似た意味を持つことわざとして適當でないものをあとのアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ことわざ……馬の耳に念仏

ア	猫に小判	イ	犬に論語
ウ	豚に真珠	エ	鬼に金棒

二 次 の 文 章 を 読 ん で 、 あ と の 問 い に 答 え な さ い 。



(澤田 智洋『人生にコンセプトを』より)

- ※1 コンセプト…ものごとの基本になる考え方やアイデア。
- ※2 紐帯…人と人やものとのをつなぐきずなやつながり。
- ※3 訴求…人にすすめて興味を持ってもらうこと。
- ※4 障壁…じゃまをして、前に進めなくするもの。
- ※5 没頭…何か一つのこと集中して、ほかのことを忘れるくらい夢中になること。

(1) 中学一年生のとき、私は透明人間<sup>とうめい</sup>でした。とはどういう状態をさしているか。最も適当なものを次のアからエまでのの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 英語が話せないことに引け目を感じ、なるべく目立たないように大人しく過ごしている状態。
- イ 周囲から話しかけられたり目を合わせたりしてもらえなくなり、学校で孤立<sup>こりつ</sup>している状態。
- ウ 転校直後に同級生からの注目を浴びた結果、周りから監視<sup>かんし</sup>されているようなプレッシャーを感じている状態。
- エ 同級生から仲間外れにされたり、陰で悪口<sup>かげ</sup>を言われたりなど、嫌がらせを受けている状態。

(2) 自分<sup>B</sup>の人生にコンセプトがあれば楽になる。とあるが、筆者はなぜそのように思ったのか。最も適当なものを次のアからエまでの中から選び、記号で答えなさい。

ア 「ユニークな辛さ」という言葉によって、置かれた状況<sup>じきょう</sup>を自分だけの特別な経験で価値があるものと前向きにとらえることができる、気持ちが楽になったから。

イ 多様な価値観に触れてきたことで「ユニークな辛さ」というオリジナルな言葉を生み出すことができ、自分自身の生き方に自信が持てるようになったから。

ウ 「ユニークな辛さ」というコンセプトを持つことで、周囲から慰められたり、人との関わりが増えたりして、孤立した状態から抜け出せたから。

エ 自分自身の状況を「ユニークな辛さ」と認識することで、自分と社会のズレを把握<sup>はあく</sup>することができ、周囲に合わせて生活を送ることができるようになったから。

(3) 他社<sup>C</sup>と同じようなありふれたコンセプト（たとえばBOS Sに対して「」など）をつけてしまう。とあるが、に入るコンセプトを考えて、自分の言葉で表現しなさい。

(4) 企業<sup>D</sup>はむしろ浮いた存在であろうとしている。のはなぜか。適当なものを次のアからオまでの中から二つ<sup>く</sup>選び、記号で答えなさい。

ア 他社に埋もれてしまわないように、自分たちだけの独自の魅力や存在意義を明確にすることで、消費者に商品や会社を選びたいと思ってもらえる可能性を高めるため。

イ 会社の知名度を上げ、社会に大きな影響力<sup>えいきょうりよく</sup>を持つことで、優秀な人材を会社に引き入れ、社員として長く働いてもらうため。

ウ 他社との直接的な競争、特に不当な価格競争に巻き込まれることを避け、会社が経営の危機<sup>おちい</sup>に陥るリスクを低くするため。

エ これまでのビジネスのやり方を大きく変え、新しい仕組みを市場に作り出すことで、業界全体を成長させ、その分野で最も強いリーダーとなるため。

オ 会社で働く人たちが、自分たちの考えで自由に活動し、持っている力を最大限に発揮<sup>はつき</sup>できるようにすることで、会社全体で新しいアイデアや技術を生み出す力を強めるため。

(5) 時代は変わりました<sup>E</sup> とあるが、どのような時代からどのような

時代へ変化したか。最も適当なものを次のアからエまでの中から選び、記号で答えなさい。

ア 工業化社会に突入し、環境を気にせず多くのものを生産して大量に消費していくのが良いとされていた時代から、それぞれの会社が地球を守るための独自の目標を持ち、環境に配慮した商品が求められる時代へと変化した。

イ 会社が成長することや利益をあげることを第一優先としており、働く人の意見があまり聞かれなかった時代から、社会全体の成長や利益について考え、働く人のやる気や新しいアイディアが求められる時代へと変化した。

ウ 第二次世界大戦後の日本社会を立て直すために、世界中の会社と競争することを考えてきた時代から、日本に世界の多様な文化や価値観を取り入れ、沈んだ日本社会を活性化させることが求められる時代へと変化した。

エ みんなと同じ行動をして、上司の言うことに従う人が社会や会社にとって良いとされていた時代から、一人ひとりが自分の得意なことや他者とは違う考えを生かし、周りとは違う存在として活躍することが求められる時代へと変化した。

(6) 自分自身の個性やこれまでの経験をもとにしてこれから中学生として生活するうえで助けとなるような「自分だけのコンセプト」を考え作成し、説明しなさい。その際に、次の条件を満たすこと。

【条件】

① コンセプトは、問題文にあるような短いものを作成する。

② 説明にはどのような個性や経験から作成したかをふくめること。

【解答例】

「コンセプト」 ユニークな辛さ

〔説明〕

パリのイギリス人学校で孤立した経験から、辛い体験も自分だけの特別な体験で価値があるものだと思いきにとらえるという意味のコンセプトを作成した。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

--

--



- ※ 1 唐突…いきなり何かをすること。前ぶれがなくてびっくりする  
ようなこと。
- ※ 2 おとつい…おととい。主に西日本の言い方。
- ※ 3 怪訝…わからなくて不思議に思うこと。
- (角田 光代『恋の後の五目ちらし』より)

(1) 千沙子は、将孝に夕飯の献立を賭けをするような気持ちで訊いて、いるが、このような言い方から読み取れる、千沙子の気持ちとして最も適当なものを次のアからエまでのの中から選び、記号で答えなさい。

ア 将孝の好みを聞いて、料理の腕前を活かしたい。

イ 自分の予想が当たっていることを確かめたい。

ウ 夫婦で意見が一致したことを周囲に示したい。

エ 献立に迷っていたので、将孝の答えて決めたい。

(2) 未知なるものの詰まった宝箱とあるが、千沙子は当時バックパッカーをしていた将孝のどのような点をそのように感じたのか。最も適当なものを次のアからエまでのの中から選び、記号で答えなさい。

ア 将孝が、アルバイトでお金を貯めては海外や国内へ旅に出るという、次に何をするか誰にもわからない自由な生き方をしている、帰るたびに千沙子がわくわくするような、まだ誰も知らない場所の話をとくさん持っていたこと。

イ 友達に「見た目がだらしない」と言われても気にせず、世間の常識やルールにとらわれない、自分だけの考えで行動する熱い心を持っていて、千沙子のつまらない毎日を変えてくれるかもしれないという強い期待を感じさせたこと。

ウ 将孝は当時仕事をしていなかったけれど、二人が旅先の台湾で出会ったことで、実家の魚屋を継ぐという義務がなく、共同生活を通じて二人で助け合って生計を立てていけるという新しい可能性に満ちていたこと。

エ 千沙子が童話作家になりたいという夢を持っていたのに対し、将孝も同じような夢を深く理解し応援してくれたため、お互いが将来、二人で創作的な分野で成功するという明るい未来を感じられたこと。

(3) 千沙子は、注文してくれた協子にうちの干物をおいしいと思えるうちは、何があってもだいじょうぶ！というメッセージカードを送った。千沙子はなぜそのような言葉を書いたのか。理由を答えなさい。

(4) 協子からのメールを読んだ千沙子がよっしゃ！と声を出す場面が描かれているが、この言葉から読み取れないものを次のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア お客に喜んでもらえた喜び。

イ メールやりとりがうまくいった喜び。

ウ 注文客が増えて売り上げにつながる喜び。

エ ひそかに願っていたことがなった喜び。

(5) この作品は千沙子の視点で書かれている。このような文体の特徴によって生まれる効果として最も適当なものを次のアからエまでの中から選び、記号で答えなさい。

ア 登場人物の外見や動作を客観的に描くことができる。

イ 千沙子の心情を距離を取って冷静に見ることがができる。

ウ 千沙子の内面の変化を読者が自然にたどることができる。

エ 登場人物全員の心情の変化をとらえることができる。

(6) この作品を読んだ四人の生徒に先生が意見を聞いている場面である。次の会話を読み、あとの問いに答えなさい。

先生…「この作品のテーマについて、それぞれの意見を出してください。」

ユウ…「僕は、『働く女性の大変さ』がテーマだと思いました。千沙子が魚屋と台所をずっと行き来しているのが印象に残っています。」

ナナ…「私は、『夢をあきらめたあとでも、前向きに生きていける』というのがテーマだと思いました。干物ひものを送る仕事で元気をもらった人もいましたし、千沙子もやりがいを見つけたって感じでしたし。」

ミク…「私は、『家族のあたたかさ』がテーマだと思いました。夫婦で同じものを食べたくなるというのがすごく好きです。地味だけと心が通じ合っている感じがしました。」

シン…「僕は、『夢や愛情は、形を変えて今も続いている』ということがテーマだと思いました。干物や五目ちらしがそれを表しているように思います。」

先生…「いいですね。では次は、自分の考えを裏づける印象的な場面をあげてみましょう。」

ユウ…「混ぜごはんを作っている描写びようしやがすごく丁寧ていねいでした。混ぜごはんは手間がかかるので仕事と家事の両立が大変そうだなって思っていました。」

ナナ…「私は、協子とのメールのやりとりの場面が印象深いです。誰かに感謝されたことで、千沙子は自分のやっていることに意味があるって思えた気がします。」

ミク…「私は、五目ちらしを食べたくなるっていう気持ちだれが夫婦でピツタリ合っているのだれがいいなって思いました。『家族』って感じがして、読んでて心があたたかくなりました。」

シン…「僕は、『夢をあきらめたわけではなく、別のかたちで続けているのかも』って千沙子が気づく場面が印象に残っています。それまでは、くり返しの生活に疑問を感じていたのに、そこから見方が変わっていますよね。」

先生…「皆みなさんいい視点を持っていますよ。最後に、『この作品を通して何が一番伝えたかったことだと思うか』を一言でまとめてください。」

ユウ…「家事と仕事の両立は大変だが、がんばれば意味がある」ってことだと思います。」

ナナ…『今ある場所で、できることを自分なりに見つけていくことが大切』ってことだと思いました。』

ミク…『変わらない日常の中にも、よく探せば、家族の中でのあたにかい気持ちや愛情がある』ってことだと思っています。』

シン…『時間が流れても、夢や愛情はちゃんと続いていて、それに気づくことで日常が前向きに見えてくる』ってことだと思いました。』

問 作品のテーマ（作者が読者に伝えたいこと）を最も理解していると思われる生徒を、次のアからエまでのの中から選び、記号で答えなさい。

ア ユウ      イ ナナ      ウ ミク      エ シン

四 次の先生と中学生2人との会話について、あとの問いに答えなさい。

「ある日の午後、先生と二人の中学生が体育館で文化祭の準備をしている。」

先生…(さてと。うわあ、たくさんのパネルがあちこちに散らばっているなあ……。まずはパネルをいったん向きをそろえて片付けて、後で並べやすいようにしておかなきゃ……。それに昨日飾りのために買っておいいた風船三十個を、三時までにふくらましておかなきゃな。)

先生…「ケン、散らばっている展示用パネルだけど、後で配置を決めるから、このスペースにA適当に置いておいてください。」

ケン…「はい、先生！ 適当ですね！ よし、ここらへんに置けばいいんだな！」

「ケン、パネルを体育館の隅のスペースに、向きはバラバラに、とりあえずそのスペースに収まるように置く。」

ハル…「ケン、そんなもんでいいんじゃない？ 『適当に』って言葉だし、きっちりじゃなくていいんだよ。」

「ハルはケンが置いたパネルの近くに、さらに別のパネルを向きも気にせず置く。しばらくして先生が来て、パネルの様子を見る。」

先生…「うーん、これじゃあ、この後で少し大変だなあ。」

ケン…「え、でも先生、『適当に』って……。」

先生…「まあいいよ。それじゃあ、次はあの風船をふくらませてくれるかな？ Bできるだけ早くお願いします。今日の夕方までには展示を終わらせたいから。」

ケン…「はい！ できるだけ早くですね！」

ハル…「私も手伝う！ 早くふくらませればいいんだよね！」

「ケンとハルは電動ポンプを使い、どんどん風船をふくらませるが、空気がもれ始めたものや、勢い余って破裂させてしまったものがいくつも出る。しばらくして先生が様子を見にくる。」

先生…「二人とも頑張ってくれたね。でもいくつか空気がもれていたり、破裂してしまったりしているね……。」

問 今回の会話においては、先生の意図が生徒たちにうまく伝わっていない。A先生の意図が伝わるためには、A適当に置いておくべきだとBできるだけ早くお願いしますの言葉をどのように直せばよいか。B後で配置を決めるからを直した例を参考にして、それぞれ解答らんに書きなさい。

【例】 一時間後に配置を決めるから

